

ひふみワールド+

追加型投信/海外/株式

2020年6月度 月次運用レポート

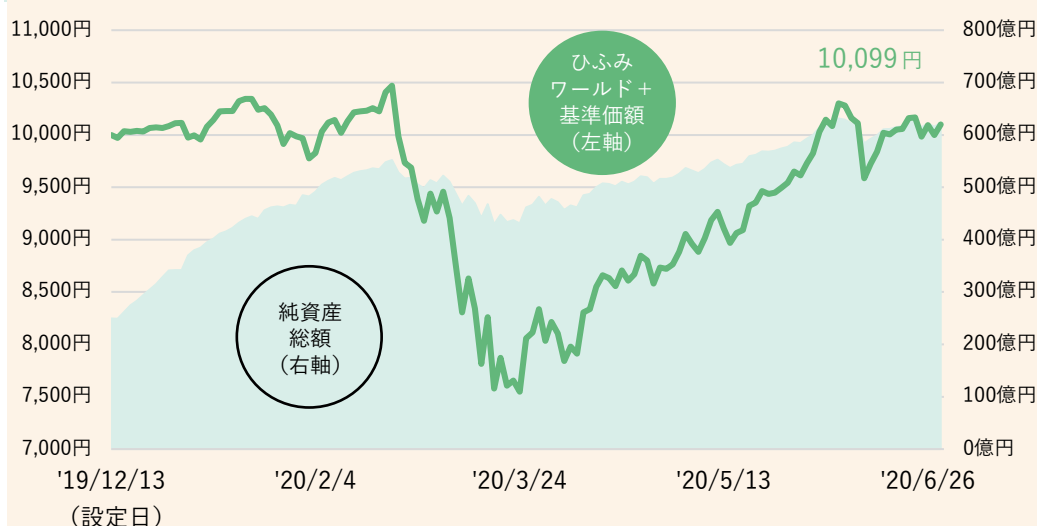
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2020年6月30日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド+」の一万口あたりの値段のことで、また信託報酬控除後の値です。信託報酬は、純資産総額が5,000億円までは年率1.628%（税込）、5,000億円を超え1兆円までの部分は年率1.518%（税込）、1兆円を超える部分については年率1.353%（税込）となります。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ひふみワールド+」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、米国には米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド+	5.03%	22.93%	-0.16%	-	-	0.99%

ひふみワールド+の運用状況

基準価額	10,099円
純資産総額	623.80億円

ひふみワールド+ 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	100.59%
現金等	-0.59%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第1期	2020年2月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） +484円

〔内訳〕

株式・投資証券	+478円
米国	+396円
欧州	+28円
アジア・オセアニア	+54円
その他	+0円
為替	+20円
米ドル	+3円
ユーロ	+10円
香港ドル	+1円
その他	+5円
信託報酬・その他	-13円

資産配分比率などの状況

ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 763.64億円

組み入れ銘柄数 100銘柄

資産配分比率

海外株式 87.33%

海外投資証券 1.97%

現金等 10.70%

合計 100.00%

時価総額別比率

10兆円以上 20.45%

1兆円以上10兆円未満 50.75%

3,000億円以上1兆円未満 15.61%

3,000億円未満 2.49%

組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 61.71%

2 中国 7.05%

3 フランス 4.75%

4 スウェーデン 2.63%

5 イギリス 2.43%

6 ドイツ 2.43%

7 アイルランド 2.20%

8 カナダ 1.80%

9 香港 1.09%

10 イスラエル 0.99%

組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 71.89%

2 ユーロ 7.73%

3 香港ドル 5.15%

4 イギリス・ポンド 1.33%

5 オーストラリア・ドル 1.10%

6 スウェーデン・クローナ 1.06%

7 中国元 0.81%

8 フィリピン・ペソ 0.23%

9 - -

10 - -

組み入れ上位10業種 比率

1 ソフトウェア・サービス 19.92%

2 メディア・娯楽 8.88%

3 各種金融 8.28%

4 資本財 8.10%

5 小売 7.93%

6 半導体・半導体製造装置 7.39%

7 消費者サービス 5.02%

8 ヘルスケア機器・サービス 4.65%

9 食品・生活必需品小売り 3.58%

10 食品・飲料・タバコ 2.82%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を元に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」は株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。



銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
	銘柄紹介				
1	ACCENTURE PLC-CL A 	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.20%
2	BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS, INC. 	アメリカ	米ドル	食品・生活必需品小売り	2.18%
3	TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.89%
4	VIVENDI S.A. 	フランス	ユーロ	メディア・娯楽	1.84%
5	CADENCE DESIGN SYSTEMS, INC. 	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.75%
6	QUALCOMM INCORPORATED 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.71%
7	MICROSOFT CORPORATION 	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.66%
8	SITEONE LANDSCAPE SUPPLY, INC. 	アメリカ	米ドル	資本財	1.65%
9	XILINX, INC. 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.63%
10	VEEVA SYSTEMS INC. 	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	1.62%

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。

※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

ご参考：市場動向

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



当月騰落率 +2.53%

米ドル／円の推移



当月騰落率 +0.20%

ユーロ／円の推移



当月騰落率 +1.64%

香港ドル／円の推移



当月騰落率 +0.22%

※MSCI ACWI ex JAPAN（配当込み）はBloombergのデータを元に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。



漢方薬・食品を製造・販売する中国内需企業に投資

米中対立でも強い企業選別

6月の米国市場は予想外に好転した経済統計と、先行きを慎重に見極めたい政策当局の消極的発言の間で上下する展開となりました。自動車販売や小売、飲食などの消費関連が回復し始めた中国の株式市場も上昇傾向を継続し、欧州市場も堅調でした。

欧州委員会は6月15日までにEU域内国境間の入国制限を解除し、7月1日以降に域外からの入国受け入れを徐々に開始するよう提言しました。新型コロナウイルスの感染再拡大懸念があるなかで、世界は経済再興に舵を切り始めました。

このような環境下、ひふみワールド+の基準価額は前月末比5.03%上昇し、10,099円となりました。5月の米国雇用統計が予想外に改善したことを素直に好感し株式市場は上昇しましたが、米国連邦準備制度理事会（FRB）会合で3月に導入した「ゼロ金利」を少なくとも2022年末まで続ける見通しを示すなど厳しい経済環境が続くことを示唆したことから一転急落しました。新型コロナウイルスの感染再拡大への不安も根強くありますが、ひふみワールド+は、米中対立の長期化で世界のサプライチェーン再構築が必要であるとの考えから、反目する二大経済大国それぞれから受注可能な体制作りをしている企業、または米中対立の影響を受けにくい企業を中心にポートフォリオを構築しています。

6月は漢方薬や日本のお新香のようにお粥やラーメンと共に食されるザーサイの製造・販売等を行なう中国内需企業などへの投資を始めました。香港に国家安全維持法を導入し自国優先を実践する中国の習近平国家主席と、経済覇権の拡大により今秋の大統領選挙勝利を目論むトランプ米大統領、両者譲らず対立に終わりは見えません。6月末にはウィルバー・ロス米国商務長官が香港法案への対応措置として同国への輸出優遇措置を取り消し、対中圧力を強める発言をするなど更に関係悪化が懸念されます。米中の対立関係を含めた世界情勢を慎重に見極め、投資を継続して参ります。引続きひふみワールド+をよろしくお願いいたします。



代表取締役副社長
運用本部長
ひふみワールド+運用責任者
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。

ひふみアカデミー（月次運用報告会）のご案内

毎月、運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明している「ひふみアカデミー」。ひふみワールド+の運用責任者である湯浅と運用部メンバーより、約30分間の動画配信にてご報告しております。運用状況の他、経済環境や株式市場、経済見通しを知りたい方にもおすすめのセミナーです。

YouTube動画セミナー「ひふみアカデミー」

https://www.youtube.com/playlist?list=PLkwGm3S_gh8S2ze4qSie9yAjrJidz3_7t





最悪期を脱出した世界経済、回復ペースが焦点に

コロナとの共生が長期化、リモート相場進展か

主要国株式市場は、コロナ禍によって2月から3月半ばにかけて急落となりましたが、3月後半以降、V字型の回復を辿り、6月初旬には年初水準近くまで戻しました。その後は戻り高値圏でもみ合いとなっています。2020年前半の世界経済は、新型コロナウイルスの感染抑制のため厳しい外出制限など都市封鎖（経済活動の抑制策）がとられたことで、世界金融危機時（2008～2009年）を上回る戦後最悪の景気後退の様相を呈しましたが、4～6月期（月次で4月）をボトムに経済再開が進む中で回復局面に入ったとみられます。

世界経済の最悪期脱出には、コロナ禍による消費や設備投資の激減圧力に対して、米国を筆頭に過去最大規模の金融・財政政策（所得補償や資金繰り支援策）が多大な効果を発揮したためと考えられます。世界金融危機時には金融システム不安による信用収縮から銀行貸出が激減し、マネーサプライが急減、企業倒産が続出となりましたが、今回は金融システム不安を回避し、過去最大規模の財政拡張によって銀行貸出が増加し、マネーサプライが急増するなど、世界金融危機時との差異が際立っています。

ところで、コロナ禍は世界的な規模で個人、企業、政府の行動に多大な影響を及ぼしはじめました。個人・家計は仕事や消費、決済、娯楽、教育・・・などの場をリアルからネット・仮想空間にシフトし、リモートワーク（在宅勤務）、オンラインショッピング・決済、遠隔医療や同授業が日常（普通）になりだしています。企業はデジタルトランスフォーメーション（DX、情報技術による事業変革・価値創出）を加速化し、政府は公共サービスのデジタル化に本腰を入れています。コロナ禍で、経済の長期停滞が懸念される中で各国政府は成長戦略として、5G（次世代通信システム）を柱にデジタル化を主軸に動きだしています。コロナ禍で経済活動が激減し、多大な悪影響を受ける業界や分野と、逆に経済活動が激増し多大な恩恵を受けるところとの明暗格差が拡大・鮮明化しています。

こうした動きを先取りする形で株式市場では、米国のNASDAQ、東証マザーズ、中国の創業板、韓国のKOSDAQ、台湾のグレート（旧名TAISDAQ）など世界の主要新興市場が年初水準を突破するなど堅調・優位化しています。加えて、産業別では川上・コモディティ産業が不振な一方で、IT（情報技術）、ヘルスケアなどを中心とする川下・非コモディティ産業が優位化し、スタイル別では割安（バリュ）株が低迷の半面で、成長（グロース）株の堅調・優位化が鮮明になっています。優位化グループは総じて言えば、ネット・デジタル関連や、バイオ・ヘルスケア関連など21世紀に入って台頭・飛躍する「21世紀型産業」が目立ちます。今年前半の世界株式市場は、「リモート（デジタルイノベーション）」が中心テーマになった「リモート相場」が演じられてきたと言えます。

今後の株式市場にとっては、最悪期を脱出した世界経済がどのような回復経路を辿るのが焦点になっています。特に新型コロナウイルスの感染流行の帰趨がカギを握ると思いますが、現状は東アジアではほぼ収束し、欧州も沈静化方向ですが、米国が手こずり、中南米や南アジア、中東など新興国で感染拡大が続いています。世界的な収束には時間を要するとみられますが、日本など沈静化が見えてきた国々でも感染再燃を警戒しながら低操業度の「コロナとの共生期」が長期化しそうです。換言すれば、世界的な供給過剰・需要不足が継続し、上述のような経済・社会の変容や株式市場の二極化を促進するとみられます。世界経済・株式市場をやや長い目で展望する場合、コロナ危機を救った未曾有の財政出動（財政赤字）を主要国がどう収束させるかでしょう。特に米国の財政政策がカギだと思います。11月の大統領・議会選挙で民主党が全て支配する場合には、「財政の崖」のリスクが現実味を増すでしょう。市場にとって米国の選挙戦とその結果は最大の注目点でしょう。

(7月2日)

三宅の目 ライブ配信セミナー 『三宅先生に聞こう!』

7月17日(金) 18:00~18:30 (予定)

《YouTubeライブ配信(申込不要)》

隔週で配信している「三宅の目」のスピノフとして、三宅の目ライブ版「三宅先生に聞こう!」を開催いたします。

詳細はこちらをクリック⇒

マーケットや経済動向をできるだけわかりやすく解説した「三宅の目」を更にバー

ジョンアップ! 三宅先生が直接皆様からのご質問や疑問にお答えするセミナーです。

ビジネスパーソンのみならず、学生さんや主婦の方など、世代を問わず、テレビや新聞のニュースがもっと身近になり楽しめる、明日の会話が少しレベルアップできるような内容でお届けしてまいります。

「コロナの影響が心配だけど、世界経済は回復できるの?」「米中対立が再び激化している原因は?」など「マーケットや経済に関する質問」を幅広くお寄せください!

※ひふみマザーファンドの運用状況や投資銘柄に関しては、ひふみアカデミーをご覧ください。

テレビや新聞のニュースがもっとわかる! 楽しめる!

三宅の目 ライブ配信セミナー

三宅先生に聞こう!

＜講師＞
レオス・キャピタルワークス株式会社
経済調査室長
三宅 一弘

米国と中国はどうして対立しているの?

日本経済はどうなる?

新型コロナウィルスの影響は?



ひふみワールド+の特色

「ひふみワールド+」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 「ひふみワールド+」は、マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	「ひふみワールド+」は、海外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売買しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行えない、あるいは不利な条件で取引を強いられる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあり、基準価額が下落するおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、当該通貨の円に対する為替変動の影響を受け、組入外貨建資産について、当該通貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、基準価額が下落する要因となり、損失が生じることがあります。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、基準価額が大きく変動するリスクがあります。なお、エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

収益分配金の仕組みについて

- 追加型株式投資信託である「ひふみワールド+」の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。
元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり金利や相場等の変動により、元本欠損が生じる可能性があります。預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありませんが、証券会社を通じてご購入いただいた場合は投資者保護基金の保護対象となります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／株式
当初設定日	2019年12月13日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月15日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないます。
購入単位	販売会社が定める単位となります。なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。
換金（解約）単位	販売会社が定める単位となります。
換金価額	解約の請求受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
換金代金	解約の請求受付日から起算して5営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。（申込受付不可日は除きます。）ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用

申込手数料：3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社が定める料率とします。
「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。

信託財産留保額：ありません。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

運用管理費用 （信託報酬） ※上段は年率 下段は税抜年率	信託財産の純資産総額に対して下記に記載の率を乗じて得た額。 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。 日々計算されて、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき「ひふみワールド+」の信託財産から支払われます。また、ひふみワールド+は、純資産総額が一定金額に達すると、一定金額を超えた部分に対して信託報酬が逓減される仕組みとなっています。 運用管理費用の配分（上段は年率、下段は税抜年率です。）				
	純資産総額	委託会社	販売会社	受託会社	合計
	5,000億円まで	0.8030% (0.7300%)	0.8030% (0.7300%)	0.0220% (0.0200%)	1.6280% (1.4800%)
	5,000億円を超える部分	0.7480% (0.6800%)	0.7480% (0.6800%)	0.0220% (0.0200%)	1.5180% (1.3800%)
監査費用	1兆円を超える部分	0.6655% (0.6050%)	0.6655% (0.6050%)	0.0220% (0.0200%)	1.3530% (1.2300%)
	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税抜年率0.0050%）を乗じて得た額。（なお、上限を年間99万円（税抜年間90万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。				
その他費用・手数料	組入有望証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。				

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社：後述の「販売会社」でご確認いただけます

当ファンドや販売会社についての照会先



レオス・キャピタルワークス株式会社
電話：03-6266-0129
受付時間：（2020年4月6日より）営業日の10時～16時
ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第1号	○			
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第7号	○		○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長（登金）第6号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社四国銀行	登録金融機関 四国財務局長（登金）第3号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社十八銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第2号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第3号	○			
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第578号	○		○	○
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第57号	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長（登金）第3号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号	○		○	

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第37号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第6号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第36号	○			
長野證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第125号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
株式会社ライブスター証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第8号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○